

FUN&RUN! 2-Wheels Full Course  
ライダーズブリーフィング資料  
(レース形式)

1.コースイン・ピットイン時の注意

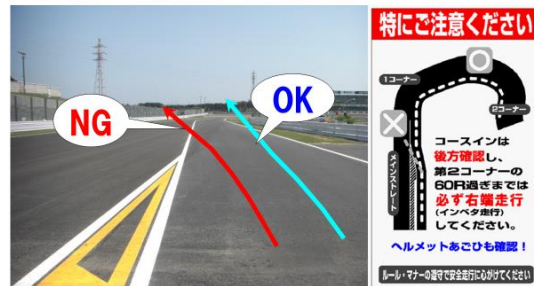
1)

ピット出口のシグナル表示



2)

コースイン方法について



3)

ピットレーン制限速度開始ライン



4)

ピットレーンの速度制限

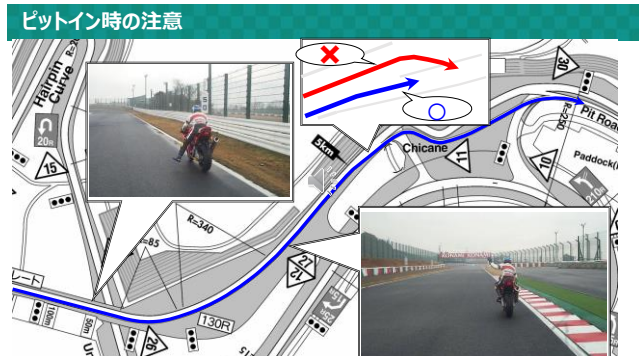


5)

制限速度終了ライン&スタート練習エリア

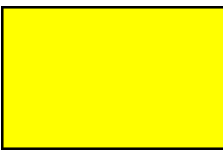
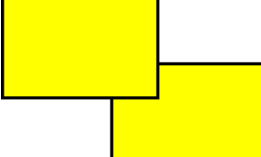

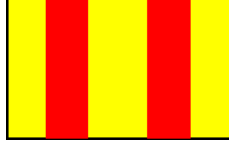
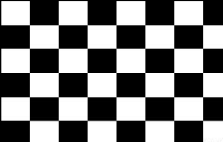
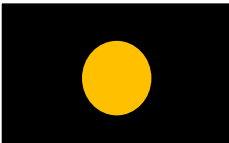




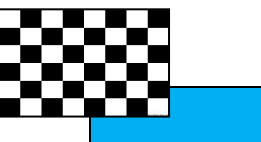

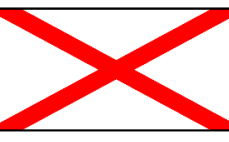


6)

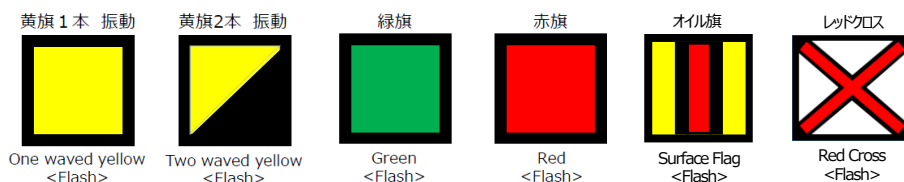


## 2. フラッグ等について

ライダーは、掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。※違反した場合は罰則を科す。  
**ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。**

	<p><b>【黄旗 1 本】</b>  <b>振動表示</b>                  表示ポスト前方でトラブルが発生。                  減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>		<p><b>【黄旗 2 本】</b>  <b>振動表示</b>                  表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。</p>
<p><b>■黄旗の基本的な出され方</b></p>  <p>コースの前方に転倒などの危険な状況が起きていることを知らせています。ポストでは黄旗を振動させて知らせますので、そのポストから追い越し禁止となります。最大限の注意を払いながら危険な状況が起きている地点を通過します。さらに、追い越し禁止は続き、緑旗が提示されるポストを過ぎたら追い越し禁止が解除されます。黄旗の振動に代わりに、イエローライトの点滅によって危険を知らせる場合もあります。</p>			
	<p><b>【赤旗】</b>                  走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。</p>		<p><b>【オイル旗】</b>                  雨以外の理由でコース上が滑りやすい状態の時、提示される。(オイル漏れ、落下物なども含む。)</p>
	<p><b>【チェッカー】</b>                  走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。                  先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(0番 P)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計2箇所にてチェッカーを提示。  <b>ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。</b>                  ※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。但し、トップライダー直前に未チェッカー車両が走行している場合は、提示を遅らす場合がある。</p>	 	<p><b>【オレンジボード+ゼッケンボード】</b>  <b>ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。</b>                  ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。</p>
	<p><b>【白旗】</b>                  救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。</p>		<p><b>【黒旗+ゼッケンボード】</b>                  当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。</p>
	<p><b>【青旗】</b>                  後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。</p>		<p><b>【チェッカー+青旗】</b>                  ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーにはもう1周することを示す。</p>
	<p><b>【緑旗】</b>                  コース規制の解除ならびに、提示ポストから黄旗の解除を示す。                  レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。</p>		<p><b>【レッドクロス】</b>                  コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。                  この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性もある。</p>

### ・ライトパネルの表示例



### 3. 公式予選について

- 1) 予選方式は計時予選とする。
- 2) 走行時間は下記のとおりとする。

RSW I、NEO STANDARD	15 分間
--------------------	-------

### 4. 決勝レースについて

- 1) WET 宣言が出された場合、**決勝レースは 1 周減算**される。
- 2)
- 3)

#### スタート前チェック

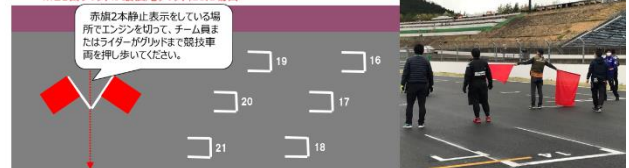
- ・スタート前チェックは時間厳守
- ・実施場所は、52番ピット付近
- ・タイムテーブル、スタート進行表にて時間を確認すること。
- ・完了していない場合、**決勝レース参加は認められない。**

#### サイティングラップからグリッド到着時について

サイティングラップ終了後にグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗2本を静止提示している場所で一旦停止し、ライダーはエンジンを切らなければならない。

その後ライダーまたはチーム員が押し歩くような速さで所定のグリッド位置につく。その際にライダーは降車しても乗車したまま移動しても良い。

※21番グリッドが最後戻りグリッドだった場合



4) グリッドにおいてタイヤウォーマーのためのジェネレーターは使用できないが、**余熱は使用可。**  
ただし、**NEO STANDARDは余熱の使用も不可とする。**

5) エアバッグは**正常に作動するよう確実に装着**すること。

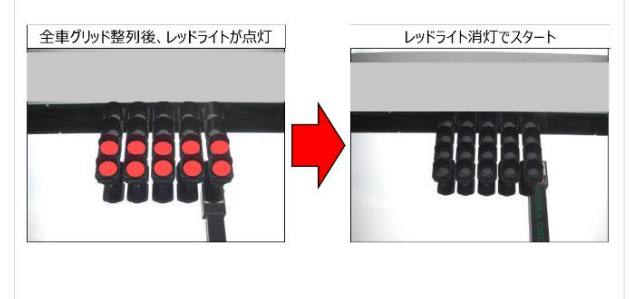
6) 1分前ボード提示時、押しがけの場合はエンジン始動後グリッドへ押し戻すこと。

7) ウォームアップラップ開始は、スタートラインのフラッグ台(0.5番P)での、**緑旗振動表示**を合図とする。  
**この時、スタート練習は禁止とする。**

#### ウォームアップラップ開始の合図



#### ウォームアップラップ後のレーススタート



8) **ピットインロード入口までにオフィシャルカーの前に入れなかったライダーは、ピットインを行い、ピットスタートすること。**

9) **誤ったグリッドにつき、自力で正規グリッドに戻れないときにはスタートディレイドとする場合がある。**

#### スタート違反

「タイム加算」ペナルティ

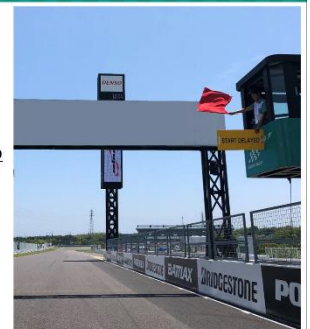


#### 決勝レーススタートのディレイド

《決勝レーススタートのディレイド》

スタートラインのフラッグ台で「START DELAYED」のボードと赤旗が提示される。

- 1) エンジンは停止させない。
- 2) スタート手順は「ウォームアップラップ開始30秒前」ボードの提示から再開され、追加のウォームアップラップを1周行い、レースは1周減算となる。
- 3) スタートディレイドの原因となったライダーとマシンは**ピット作業エリアに戻される。**追加のウォームアップラップへの走行は可能だが、**ピットインを行いピットスタートすること。**
- 4) 速やかなスタート手順の再開が難しいと判断された場合は、「エンジンストップボード」が提示され、**全車、ピット前作業エリアに戻される。**この場合、再開手順は**クックリスタート**で行われる。



## 5. スタートについて

- 1) レッドライトが消灯された後で、エンジンがストールした場合、オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為を中止し、指示に従って速やかにマシンをピット作業エリアに押し行かなければならない。【MFJ国内競技規則 付則4 17-4-10-3】
- 2) セルススターターが装着されている車両の場合でも、エンジン始動出来ない場合は同様の扱いとする。
- 3) ピット作業エリアでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させるために援助することが許可され、ピットスタートとなる。

## 6. 赤旗中断されたレースの再スタートについて

競技結果が 2/3 未満の場合の再スタートについては、下記手順(クイックリスタート)にて進行される。

- 1) 赤旗中断によりライダーがピットイン後、競技監督よりサイティングラップスタート時刻が発表される。  
※NEO STANDARD の再スタート時のライダーは、赤旗で中断した際乗車していたライダーとする。  
※赤旗提示時にピットレーンにいた車両についてはピットインしていたとみなされ、ライダー交代(腕章の付け替え)が認められる。
- 2) サイティングラップ開始  
ピットレーン出口はサイティングラップ開始から約30秒間解放される。  
サイティングラップに参加できないライダーは、ピットレーンからウォームアップラップを開始し、正規のグリッドにつくことができる。但し、車両を押しグリッドに移動することは認められない。  
また、ライダー1名につき1名のピットクルー(工具を持たず)がグリッド位置を教えるために立ち入りすることは許可される。
- 3) ウォームアップラップ 30 秒前ボードが提示される。  
この時点でグリッドへ着いていないライダーはピットレーンよりウォームアップラップを開始する。
- 4) 以降通常のスタート手順

## 7. NEO STANDARD クラスについて

- 1) 走行中は必ず右上腕部に腕章を着用すること。(第1ライダー:青色 第2ライダー:黄色)  
1名で参加する場合はスタート時に青色を着用し、ピットインの際に黄色に付け替えること。  
腕章をふたつ付けての走行は認められない。
- 2) 全てのチームはライダーの登録数に関わらず必ず1度はピットインをし、ライダー腕章を付け替えなければならない。その際に必ずエンジンを停止すること。  
2人で参加するチームはライダー交代をもってライダー腕章を付け替えたとみなす。

NEO STANDARD クラス 国際ライダー登録チームのハンディキャップについて

- 1) 決勝レースにおいて、国内ライセンス以下のライダーを走行させなかった場合は、失格とする。
- 2) 規則に定められたライダー交代(ピットイン)を行う際、コントロールタワー前を通過してからピットレーン出口を通過し再コースインするまで、最低2分以上留まらなければならない。

NEO STANDARD クラス 上位入賞エントラントのハンディキャップについて

- 1) 第2戦以降、前戦の結果に基づき、各クラス1位のエントラントに対しハンディキャップを科す。  
1位 …… 次大会 ライドスルー(決勝レースにおいて)  
※ハンディキャップは自チームがレース終了3週間までに完了すること。  
(例:12周決勝終了の場合、9周完了時点まで)
- 2) レース終了時点(赤旗レース終了時も含む)でハンディキャップが消化されていない場合、競技結果に対して以下のタイム加算を科す。  
・東コース開催時… 60秒加算  
・フルコース開催時… 120秒加算

## 8. 決勝レース後について

- 1) 上位ライダーは車両保管を行う。
- 2) 車両保管場所の車検場までオフィシャルが誘導する。
- 3) 表彰式は全レース終了後、ポディウムにて行う。



## 9. 走行にあたっての注意事項

- 1)スロー走行を余儀なくされた場合、レコードラインを避け、後方に注意し、極力右側を走行すること。
- 2)重大なマシントラブル発生時、速やかにコース外グリーン奥の安全な場所へマシンを止めること。
- 3)転倒したらすぐに安全な場所へ退避すること。負傷で退避が困難な場合、大きくアピールすること。
- 4)可能な限り、オフィシャルの車両撤去に協力すること。
- 5)転倒、オーバーラン後のコース復帰時は、必ず後方確認を行うこと。
- 6)エンジントラブルや転倒車が出したオイルにより、後続車を巻き込んだ重大事故が発生しているため、オイル旗提示時は路面状況を確認すること。
- 7)他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。  
基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。
  - ①追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。
  - ②走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や、急減速をしないこと。

## 10. 使用燃料について

- 1)各銘柄のガソリンを混ぜて使用してはならない。
- 2)前回使用したガソリンが混ざることのないよう注意すること。  
※RSW I クラスは除く

## 11. その他

- 1)天候の急変等で、走行スケジュールを変更する場合があります、場内放送等に気をつけること。  
また予備のガソリンや工具等は、予めピット前に準備しておくこと。
- 2)走行時には、必ず車検に合格・登録したヘルメットを使用すること。※複数個登録することもできる。
- 3)車両整備は、オイル漏れやカウルの脱落など車両トラブルがないように徹底して行うこと。  
※オイルをコース上に撒いた当該ライダーおよびエントラントに対しては罰則を科す。
- 4)ヘルメットやリムーバーのあご紐、レーシングスーツ、ブーツのファスナー等は完全に閉めること。
- 5)エアバッグ装着義務者は走行中の転倒等でエアバッグが展開した場合、MFJ 国内競技規則付則 4 10-2-1-7 2) に基づいた運用とする。

以上